

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	河長樹脂工業(株)第二工場 増築計画	階数	地上3F
建設地	京都府向日市森本町佃8番、8番4、8番5、9番、10番1、10番3、11番、11番2、69番	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2026年4月13日
敷地面積	6,180 m ²	作成者	上本晋紀
建築面積	986 m ²	確認日	2026年7月3日
延床面積	2,742 m ²	確認者	河原 祐己
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	
BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ BEE=1.0 0 50 100 0 50 100 環境負荷 L		標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 20 40 60 80 (kg-CO ₂ eq/年・m ²) このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEE+で表示しています。	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境		Q のスコア = 2.6 LR のスコア = 3.0	
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境		Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8 機能性 耐用性 対応性	
Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5 生物環境 まちなみ 地域性		LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8 建物外役の 自然エネ 設備システ 効率的	
LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 水資源 非再生材の 汚染物質		LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1 地球温暖化 地境環境 周辺環境	
3 設計上の配慮事項 総合 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。	
Q1 室内環境 2.0% ≤ [昼光率] < 2.5% 照度が500lx以上1000lx未満。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。		Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m以上。 0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3 ケーブルラック内配線により構造材・仕上材を痛めず更新・修繕ができる。	
Q3 室外環境(敷地内) 特になし。		LR1 エネルギー BPI=0.66。	
LR2 資源・マテリアル 節水377などに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。		LR3 敷地外環境 ホールライフカーボン排出率88% 燃焼機器を使用していない。 光害対策ガイドラインと広告物照明的扱いの項目の過半を満たす。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される